

WEB formosus(フォルモス) vol.51

formosusとはラテン語で「美」を意味します。古代ローマに造られた建築の美しさを表現したものです。東北の豊かで美しい自然を生かした社会資本整備には「用・強・美」が必要であり、集大成された「美」を追求していきたいとの思いで本誌のタイトルにしています。

国土交通省 東北技術事務所 電子広報誌 WEB formosus(フォルモス)発行事務局 発行2023.3.27



第21回（令和4年度）高校生「橋梁模型」作品発表会

令和5年2月15日（水）
エル・パーク仙台

目次

- | | ページ |
|---|-----|
| ◆第21回 令和4年度 高校生「橋梁模型」作品発表会を開催しました | 2 |
| ◆最新の除雪技術を展示 ゆきみらい2023in会津 | 3 |
| ◆令和4年度 所内業務報告会を開催しました | 4 |
| ◆橋梁診断結果を各管理事務所に報告、トンネル健全性判定会議へオブザーバーとして出席 | 5 |
| ◆応急組立橋の説明看板を設置しました、あとがき | 6 |

第21回令和4年度 高校生「橋梁模型」作品発表会を開催しました

高校生「橋梁模型」作品発表会は、未来の技術者である高校生を対象に、橋の模型づくりの体験(楽しさ、創意工夫)を通じて、橋の知識の習得とともに、社会を支える基盤となる橋等土木構造物への理解を深めてことを目的として開催しており、今回で第21回目の開催になります。

今年度の高校生「橋梁模型」作品発表会は、エル・パーク仙台で3開催ぶりに一般来場者を迎えての開催になりましたが、会場に詰めかけた約40名の高校生による熱気に圧倒された1日となりました。

作品発表会 開催月日：令和5年2月15日（水）、開催場所：エル・パーク仙台

ギャラリーホールでは入選12作品展示のほか、全応募作品のポスター展示、作品発表会を主催する各団体による橋梁等の資料展示・新技術体験、一般来場審査などを開催しました



作品展示会場(ギャラリーホール)



MRを体験する
中平企画部長

東北技術事務所は「MR（ミックス・リアリティ）」と「VR（バーチャル・リアリティ）」に関する体験展示を行い、高校生や来場者から好評を得ました
また、来場された中平企画部長にもMRを体験していただきました

スタジオホールでは製作者（高校生）による作品のプレゼン、橋梁技術講演、結果発表、審査講評、表彰式、記念撮影などを行いました。

また、都合により来場できなかった学校にはWEBを活用して参加いただきました。



プレゼン・表彰式等会場(スタジオホール)



橋梁技術講演



審査講評
東北学院大学
工学部
武田教授



受賞決定の瞬間！



表彰式



記念写真撮影

詳しい情報はここから <http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/kyoryomokei/R4/index.html>

最新の除雪技術を展示 ゆきみらい2023 in会津

東北技術事務所では、除雪機械の改良、開発、除雪作業の効率化や安全対策など、現場ニーズに対応した技術開発に取り組んでいます。

このたび、除雪機械の最先端技術を集めた「ゆきみらい2023 in会津 除雪機械展示・実演会」に出展し、除雪作業の担い手育成を支援する除雪グレーダ用シミュレータとICT除雪グレーダを多くの皆様にご覧いただきました。



令和5年2月8日～9日 福島県会津若松市で開催



福島県知事が全国初のICT除雪グレーダに試乗



会津若松市長が除雪機械シミュレータを視察



ICT除雪グレーダ



除雪機械シミュレータの操作席



みらいの担い手も体験試乗



除雪に従事しているオペレータさんも操作体験

令和4年度 所内業務報告会を開催しました

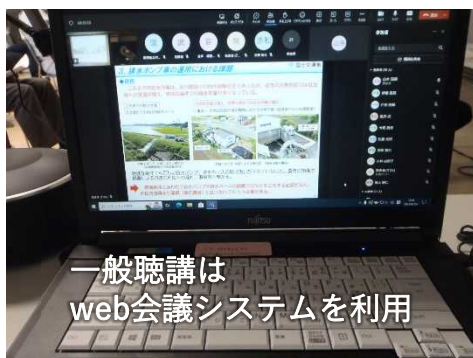
技術情報管理官、維持管理技術課

東北技術事務所では、「技術支援」「人材育成支援」「災害対策支援」の3つの支援を基に、東北管内の事務所や自治体と建設技術をつなぐ絆となり、社会資本整備を支えるための取り組みを行っています。

令和4年度に東北技術事務所各課において実施した業務等の中から8題について業務報告の発表を行い、パワーポイントを使用し、聴講者に分かり易い説明がなされ、発表内容に関する活発な質疑応答が交わされました。また、論題内容の構想や業務の改善向上の意義、論文のとりまとめやプレゼンテーションについて審査を行い、審査結果により、東北技術事務所長から賞状を進呈しました。

この業務報告会は、東北技術事務所が実施している業務を広く知っていただくため一般公開しており、web会議システムを利用し事前申込の一般聴講も実施しました。

発表論題	
1	除雪グレーダのブレード自動制御システムの開発
2	インフラ分野のDX実現に向けた取り組み
3	災害対応の強化について
4	ダイオキシン類調査について
5	樋門等施設点検データベースシステムについて
6	品質試験室の取り組み(表層品質を中心に)
7	東北技術事務所とアスファルト試験
8	給与事務について



橋梁診断結果を各管理事務所に報告

目的

東北技術事務所では東北地方整備局が管理する管内橋梁の点検・診断を実施し、道路インフラの現状把握に努めています。点検診断結果をとりまとめ、13事務所と「令和4年度 橋梁診断結果報告会（Web会議）」を開催し、13事務所を支援しました。



R5. 2. 28 青森河川国道事務所の橋梁診断報告会

実施状況

- R5. 2. 13 酒田河川国道事務所
- R5. 2. 17 岩手河川国道事務所
- R5. 2. 21 三陸国道事務所
- R5. 2. 22 福島河川国道事務所
- R5. 2. 27 秋田河川国道事務所
- R5. 2. 28 青森河川国道事務所
- R5. 2. 28 能代河川国道事務所
- R5. 3. 2 磐城国道事務所
- R5. 3. 2 山形河川国道事務所
- R5. 3. 3 湯沢河川国道事務所
- R5. 3. 6 仙台河川国道事務所
- R5. 3. 7 南三陸沿岸国道事務所
- R5. 3. 7 郡山国道事務所



R5. 2. 28 青森河川国道事務所の橋梁診断報告会

トンネル健全性判定会議へオブザーバーとして出席

10事務所が開催した「トンネル健全性判定会議（Web会議）」に参加し、各事務所を支援しました。

出席状況

- R4. 12. 9 南三陸沿岸国道事務所
- R5. 2. 13 酒田河川国道事務所
- R5. 2. 17 岩手河川国道事務所
- R5. 2. 21 三陸国道事務所
- R5. 2. 22 福島河川国道事務所
- R5. 2. 27 秋田河川国道事務所
- R5. 2. 28 能代河川国道事務所
- R5. 3. 3 磐城国道事務所
- R5. 3. 6 仙台河川国道事務所
- R5. 3. 8 湯沢河川国道事務所



R5. 2. 17 岩手河川国道事務所のトンネル健全性判定会議

応急組立橋の説明看板を設置しました

東北技術事務所には応急組立橋が配備されています。応急組立橋は自然災害等で破損した橋梁や道路の代わりに応急的に設置し、緊急の輸送路や工事用道路に使用する為の橋梁です。

最近では、令和4年7月の大雨で崩落した丸山橋(宮城県大崎市)の迅速な通行確保のため、応急組立橋を設置しました。

この度、応急組立橋の保管場所変更に伴い、屋外に保管している鋼材等が構外からも見えるようになりましたので、地域住民等の方々など多くの人に、応急組立橋の目的や機能を知って頂けるよう、説明看板を設置しました。

お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。



丸山橋に設置している応急組立橋



敷地外からの様子



説明看板

あしがき

陽春の候、梅や桜もほころび、待ち遠しかった季節がやってまいりました。

新型コロナ感染症でのマスク着用が個人の判断にゆだねられることとなり、皆様の笑顔が見られるようになることと思います。

さて、本号は、仙台市で開催した「高校生「橋梁模型」作品発表会」や、会津若松市において開催された「ゆきみらい2023in会津」での展示状況などを掲載させていただきました。橋梁模型や除雪グレーダーシミュレーターは、6月開催予定の「EE東北'23」においても展示する予定としておりますので、お見逃しの方は是非会場へご来場ください。

このほか、東北技術事務所ホームページでは、「橋梁模型」作品（「高校生「橋梁模型」作品発表会」のバナー）や、「機械化施工発祥の地」として展示しているブルドーザーの映像（「事務所紹介」のバナー）を掲載しています。

次号は、新たに整備している「東北インフラDX人材育成センター」をご紹介します。寒暖差が大きくなる時期ですが、皆様におかれましても体調にご留意ください。（S記）

発行元

国土交通省 東北技術事務所 WEB formosus(フォルモス)発行事務局

〒985-0842 宮城県多賀城市桜木3丁目6-1 TEL022-365-8211(代表)

フォルモス事務局 品質調査課

FAX 022-365-7988

E-mail: thr-tougi02@mlit.go.jp

事務所ホームページ <http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/index.html>